

ごあいさつ

理事長 矢部丈太郎

当財団は、横浜市内の大学や研究機関で研究に携わる方々の研究活動に対する助成を行うことにより、横浜市における学術研究活動の振興を図り、もって広く社会の学術・文化の発展に寄与しております。平成9年に創設されて以降、当財団の助成活動に対する関係者の理解も年々深まり、着実にその成果を上げてきております。

これまでに当財団(旧法人を含む)は、延べ700名の究者に対し、総額1億3,530万円の助成活動を行ってまいりました。平成30度におきましては、研究助成27名、出版刊行助成2名、海外渡航費助成21名に対し助成を行いました。

学術・教育の振興を図る人材の育成や研究基盤の整備は、我が国経済の持続的な発展にとって喫緊の課題であります。しかしながら、国や地方自治体が財政難の折、経済的利益に直結しないような基礎的な研究や開発に必要な経費は削減される傾向にあります。当財団としては、地域貢献の一翼を担うべく、新時代に向けた先駆的・独創的な研究活動や社会的要請の強い研究活動に対して、これまで以上に充実した支援活動を進めてまいる所存であります。

ご承知のとおり、運用資金に対する利回りは低下しており、このままでは基金の原資はいずれ枯渇することとなります。研究者に対する助成活動の必要性と意義を認識され、できるだけ多くの後継研究者たちが永続してその恩恵に浴することができるよう、当財団へのご寄附をお願いできれば大変幸いです。

このたび、平成30年度に助成を行った研究活動の成果を取りまとめた『平成30年度助成研究等報告書』を刊行いたしました。ご高覧いただき、今後の研究活動の一助としていただければ幸いです。

目次

研究助成

〈人文社会科学〉

| | | |
|---|----------------------------------|----|
| 環境配慮型 PFI 方式における事業スキームの構築と制度設計に関する研究 | 横浜市立大学国際総合科学群・准教授 大島 誠 | 5 |
| 企業部門が形成する期待：情報優位性の検証 | 横浜市立大学国際マネジメント研究科・准教授 中園 善行 | 9 |
| 『吉田家日次記』を中心に読み解く中世日本紀と秘説の形成 | 横浜市立大学国際教養学部・教授 松本 郁代 | 13 |
| 都市評価指標からみたこどもにやさしいまち（CFC）の実現に関する研究－横浜市における合計特殊出生率の向上を目指して－ | 横浜市立大学大学院都市社会文化研究科・博士前期課程 多田 茜 | 17 |
| 女子大学生を対象とした「社会課題の解決を志向するキャリア教育プログラム」の開発と評価－サスティナブルな女性社会起業家の育成を目指して－ | 東洋英和女学院大学国際社会学部・助教 酒井 郷平 | 21 |
| 沈黙を解釈する枠組みの構築に向けて：解釈時の参考された視点をもとに | 横浜市立大学国際総合科学部・客員研究員 種市 瑛 | 25 |
| 横浜市の戦後都市デザインにおける国内外の交流に関する研究 -1960 年代から 80 年代に注目して- | 横浜市立大学国際総合科学部・教授 鈴木 伸治 (後日公開) | 29 |
| 映像文化にみる「再帰的自己」の現代社会論的考察 | 横浜市立大学国際教養学部・准教授 角田 隆一 | 33 |
| 地域詳細空間情報の構築による空き家・空き地発生量の推計 | 横浜市立大学データサイエンス学部・教授 大西 晓生 | 37 |
| 相模湾周辺の自治体によるプラスチック系廃棄物対策の現状調査と資源循環型社会システム構築に関する研究 | 横浜市立大学国際教養学部・教授 青 正澄 | 41 |
| 外国人留学生の横浜市内企業におけるインターンシッププログラムの効果検証－日本で働くことに対する動機づけに着目して－ | 横浜市立大学グローバル教育センター・特任准教授 鈴木 綾乃 | 45 |

| | |
|--|----|
| 震災復興期における「横浜山手」のまちづくりに関する研究 —「永代借地権の抹消と転売」の実態と復興効果 | 41 |
|--|----|

横浜国立大学都市イノベーション学府・博士課程後期 白川 葉子

<自然科学>

| | |
|---|----|
| イチゴにおける单為結果誘導遺伝子の探索 | 45 |
| 横浜市立大学学術院国際総合科学群・助教 中村 郁子 | |
| 加齢に伴う骨格筋萎縮における酸化ストレスの役割の解明 | 49 |
| 神奈川大学人間科学部・准教授 北岡 祐 | |
| 癌細胞内で開裂するリンカーの開発と核酸医薬への応用 | 53 |
| 神奈川大学工学部・助教 實吉 尚郎 | |
| 定量的な細胞内力学操作技術の開発 | 57 |
| 横浜市立大学理学部・講師 谷本 博一 | |
| 磁場発生装置を用いた定量的外乱下での羽ばたき飛行安定性の研究 | 61 |
| 関東学院大学理工学部・助教 野田 龍介 | |
| スペクトル可変近紫外サブ 10-fs パルス光を用いる光反応遷移状態の解析 | 65 |
| 神奈川大学工学研究所・博士研究員 橋本 征奈 | |
| 卵管間質の運命決定における TGF β シグナルの役割 | 69 |
| 東京大学生産技術研究所・特任助教 横浜市立大学生命ナノシステム研究科・客員研究員（平成 30 年度） 中島 忠章 | |
| 木造住宅を対象とした外装材の層間変位追従性能の評価法の開発 | 73 |
| 横浜国立大学都市イノベーション研究院・特別研究教員 中尾 方人 | |
| 人工気象機内における穀物類イネの生長解析 | 77 |
| 横浜市立大学木原生物学研究所・特別研究員 PD 大西 由之佑 | |
| 栄養繁殖性の雑草防除にむけた分子基盤の確立 | 80 |
| 横浜市立大学木原生物学研究所・助教 吉田 明希子 | |
| コーヒー残渣の非可食性バイオマスとしての利用を目指した燃料成分の構造解析 | 84 |
| 横浜国立大学工学研究院・准教授 川村 出 | |

<医 学>

| | |
|---|----|
| IDH1 変異が及ぼすアポトーシス制御機構の解明とアポトーシス誘導による独創的治療法の開発 | 88 |
| 横浜市立大学医学研究科・博士課程 三宅 茂太 | |

腎がんから家族を守る：AYA 世代から始めるポストゲノム診療 ······ 92
横浜市立大学医学研究科・准教授 古屋 充子

フェンタニル貼付剤皮膚移行のカギを握る分子は何か 皮膚組織における膜輸送体 P-glycoprotein (P-gp) の BMI とともに発現変動の解析 ······ 96
横浜市立大学医学研究科・講師 横原 弘子

肥満が皮膚の知覚にもたらす影響 —皮膚内神経線維に着目した疼痛閾値の解析— ······ 100
横浜市立大学医学研究科看護学専攻・博士前期課程 堀井 麻里子

出版刊行助成

グローバル・タックスの理論と実践 —主権国家体制の限界を超えて— ······ 104
横浜市立大学国際教養学部・教授 上村 雄彦

大学英語教育の質的転換 —「学ぶ」場から「使う」場へ— ······ 106
横浜市立大学国際総合科学部・准教授 加藤 千博

海外渡航費助成

第 233 回電気化学学会 ······ 108
神奈川大学工学研究科・博士前期課程 野村 文洋

ヴェネツィア 2018 年日本語教育国際研究大会 第 22 回 AJE ヨーロッパ日本語教育シンポジウム「平和への対話」 ······ 110
横浜商科大学商学部・特任講師 末田 美香子

第 18 回国際ベーチェット病学会 ······ 112
横浜市立大学医学研究科・博士前期課程 副島 裕太郎

第 6 回アジア国際トライボロジー会議 ······ 114
関東学院大学理工学部・助教 堀田 智哉

第 6 回 アジアトライボロジー学会 ······ 116
関東学院大学工学研究科・博士前期課程 岸田 晃直

第 18 回 北欧トライボロジーシンポジウム ······ 118
関東学院大学工学研究科・博士前期課程 二瓶 美摘

第 23 回国際児童思春期精神医学学会 ······ 120
横浜市立大学附属病院児童精神科・指導診療医 戸代原 奈央

第 19 回世界社会学会大会 ······ 122
横浜市立大学国際総合科学部・教授 滝田(石井)祥子

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 磁性に関する国際会議 2018 | 124 |
| 横浜国立大学工学府・博士前期課程 木村 美波 | |
| 第 15 回環太平洋国際宇宙会議 | 126 |
| 横浜国立大学理工学府・博士前期課程 高木 雄哉 | |
| 第 20 回国際エチオピア学会学術大会 | 128 |
| 東京工業大学 環境・社会理工学院・特別研究員 樋口 謙 | |
| 第 7 回欧洲数值流体力学会議 2018 | 130 |
| 横浜国立大学工学研究院・准教授 北村 圭一 | |
| 第 13 回有機材料の結晶成長における国際ワークショップ | 132 |
| 横浜国立大学環境情報学府・博士前期課程 川口 純奈 | |
| 第 12 回高温超伝導体と超伝導の物質と発現機構に関する国際会議 | 134 |
| 神奈川大学工学部・特別助教 相澤 啓仁 | |
| 第 18 回レチナール蛋白質国際会議 | 136 |
| 横浜国立大学理工学府・博士前期課程 金子 莉奈 | |
| 第 13 回 有機材料の結晶成長における国際ワークショップ | 138 |
| 横浜国立大学環境情報学府・博士前期課程 岸 優子 | |
| 第 3 回発色・発光材料に関するカパリカ国際会議 | 140 |
| 横浜国立大学高大接続・全学教育推進センター・非常勤教員（助教） 神藤 拓実 | |
| 2019 年・第 113 回アメリカ法科大学院協会年次大会 | 142 |
| 関東学院大学法学部・准教授 原口 佳誠 | |
| 第 2 回 日本語教育、文学、文化に関する国際会議 | 144 |
| 横浜商科大学商学部・教授 総田 はるみ | |
| 第 23 回国際児童思春期精神医学学会 | 146 |
| 横浜市立大学附属市民総合医療センター・助教 山本 恭平 | |
| 第 32 回 ヨーロッパセンサ会議 | 148 |
| 関東学院大学工学研究科・博士前期課程 梁 肆揚 | |